

第4次岡谷市高齢者保健福祉計画

— 元気 いきいき いつも現役 —

急激な高齢社会に対応できるよう、福祉の分野でも様々な見直しが行われていますが、介護保険制度の改正に合わせ、高齢者がいつも現役でいきいきとして暮らすことのできるような地域社会の実現をめざして、高齢者に関わる施策を総合的・計画的に推進していくため、第4次岡谷市高齢者保健福祉計画を策定しました。

計画の期間は、平成18年度～20年度で、今回から3年間となりました。

基本理念

- 「個人としての尊厳」
- 「多様なライフスタイルを可能にする自立支援」
- 「社会の資産としての高齢者の活用」
- 「男女共同参画の視点」



この計画では、高齢者一人ひとりが尊厳をもって自立した生活を営むこと「自助」を基本に、多様化する高齢者の状況や価値観を受け止め、高齢者が持てる力を発揮することができるよう地域、家庭、各種団体、行政がそれぞれの特性に応じた役割を担い、連携することにより高齢者を支援していくことを基本に考えています。

重点プロジェクト

第3次計画に引き続き4つの重点プロジェクトを推進します。

健康いきいき活動プロジェクト

- ①ライフステージにあわせた健康づくりと生きがいがづくりの推進
- ②地域に根ざした健康づくり・保健予防活動の推進
- ③「地域サポートセンター」等による健康・生きがい対応型事業の推進

市民安心サポートプロジェクト

- ①情報提供・相談体制の充実
- ②地域ケア体制の推進
- ③介護予防・重症化予防の推進

いつも現役プロジェクト

- ①高齢者が「いつも現役」であることの啓発
- ②高齢者ボランティアの活動の場の拡大
- ③高齢者の蓄積したノウハウを地域に還元する仕組みづくり
- ④就労機会と起業への支援
- ⑤高齢者の活動団体の育成・支援
- ⑥高齢者が社会参加しやすい環境の整備

福祉コミュニティ活動プロジェクト

- ①保健福祉の担い手の育成
- ②地域の人材、組織、行政の連携
- ③「地域サポートセンター」の設置と地域特性を生かした運営への支援

計画の内容と市民のみなさんをお願いすること

市民のみなさんへのアンケートによる実態調査、関係する団体のみなさんとの懇談会、さらには各種統計データから本市における高齢者の課題を探る中で、具体的な施策についてまとめました。また計画推進に伴い、市民のみなさんに率先してお願いしたいこと、考えていただきたいことを併せてまとめました。

基本目標	施策の方向	市民のみなさんをお願いすること
基本目標Ⅰ いつまでも 主体的に活動 するために	ライフステージにあわせた健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 病気の早期発見に努め、自らの健康づくりに積極的に取り組みましょう。 「自分の健康は、自分で守る、つくる」という大切さを、地域で声をかけあい、健康意識を高めましょう。
	介護予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防のために、今の自分ができることを見つけましょう。 身近なところで継続できる介護予防の仕組みづくりを考えましょう。
	生きがいのある高齢期の推進	<ul style="list-style-type: none"> 生きがいのある高齢期のために、興味のあることはどんどん挑戦しましょう。
	社会を支える活動を通じた自己実現	<ul style="list-style-type: none"> 知識や経験等を生かし、積極的に社会に参加しましょう。
	医療機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけの医師を持ち、心身の不調を感じたら、まず相談しましょう。
基本目標Ⅱ 介護が必要となっても“おかや”で過ごせるように	在宅生活の支援	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生涯プランを立てましょう。 普段から、自分や家族が介護を必要とするときに、どういった介護をしたいのか、また、どういった介護をして欲しいのか話し合ひましょう。
	認知症高齢者の支援	<ul style="list-style-type: none"> 認知症についての正しい理解に努めましょう。 本人やその家族を、地域で支えるにはどうすればよいか話し合う場をつくりましょう。
基本目標Ⅲ 互いを尊重し、共に支え合うやさしいまちとなるように	地域全体での支え合いのシステム化	<ul style="list-style-type: none"> 身近なコミュニティ活動に積極的に参加しましょう。 地域でお互いに支え合うために必要な活動を見つけましょう。
	生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの環境整備に努めましょう。 地域特有の問題点を探し、解決方法について考えましょう。
	安全・安心対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難行動等を見直し、あらかじめ家族と話し合っておきましょう。 安心の街づくりとなるよう、声かけや、互いに見守りを行いましょう。
基本目標Ⅳ 幅広い市民の参加をめざして	利用者への支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ひとりや家族で抱え込まず、相談する機会や場所を有効に活用しましょう。 お互いに身近な相談相手となるように地域での関係づくりに努めましょう。
	市民との協働・関係団体との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にボランティア活動等へ参加しましょう。 地域の関係団体間の連携を深めましょう。
	計画的な推進と点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> 計画の理解を深めるとともに、自らできることは実行していきましょう。
	高齢者を社会の担い手とする視点の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者も社会の担い手であるという意識を持ち、身近なところから実践に心がけましょう。
	男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の意識を持ち、家庭や地域での実践に努めましょう。

問合せ：介護福祉課(内線1276)